

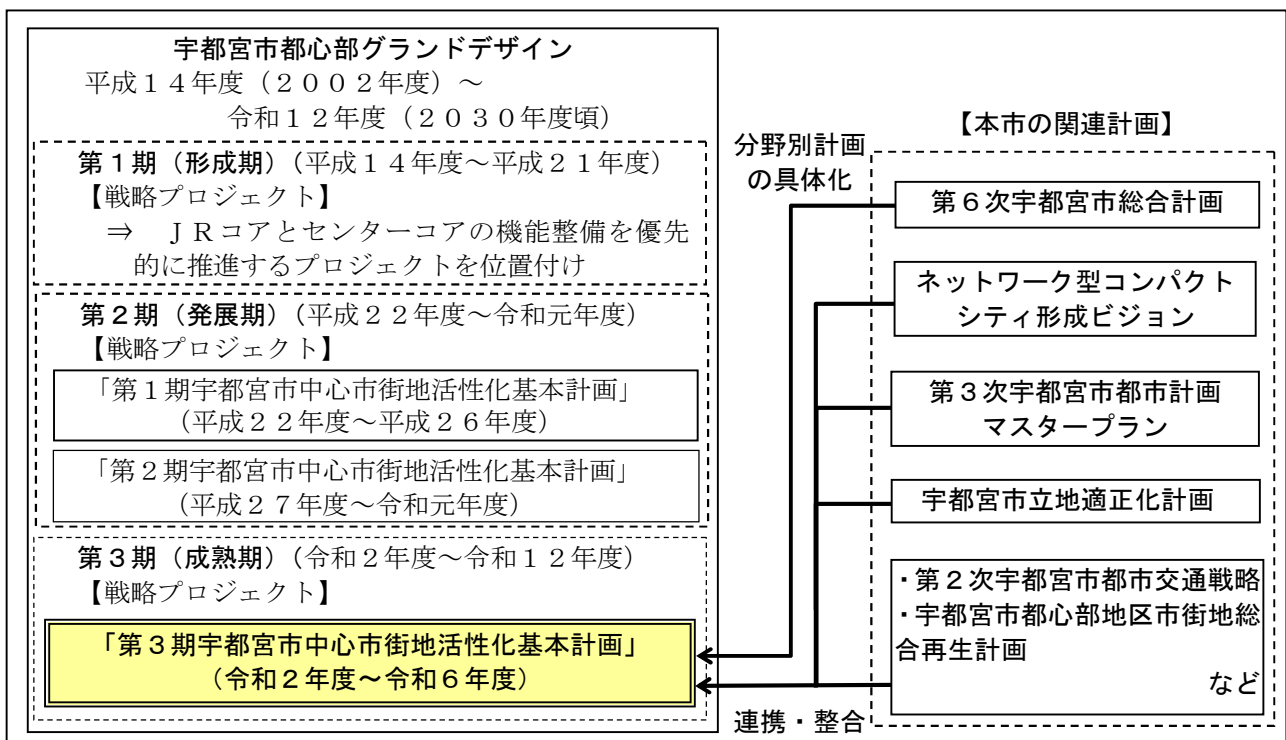
## 「第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」について

### 1 策定の目的

- 本市では、ネットワーク型コンパクトシティの中核となる「都市拠点」としてふさわしい活力と賑わいあふれる中心市街地の形成に向け、平成27年3月に策定した「第2期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」に基づいて各種活性化事業を推進してきた。
- これらの取組により、空き店舗数は減少し、週末の夜間を中心として通行量が増加するなど、賑わいや活気が出てきている状況にあるが、平日の昼間における通行量は伸び悩んでおり、事業所数は減少傾向にあることから、恒常的な賑わい創出や経済活力の向上に向け、更なる活性化の推進が必要である。
- また、LRTの開業や駅東口地区整備事業の事業効果を最大限に活かすとともに、現在検討を進めているLRTの駅西側への導入を見据えた中心市街地のまちづくりを進めていく必要がある。
- こうしたことから、LRTの導入も見据えた今後10年先のまちの将来を見通しながら、より一層の活力と魅力ある中心市街地の形成を図るため、新たな「基本計画」を策定する。

### 2 計画の位置付け

- 本市の中心市街地活性化を図るための基本的な方針であり、各種施策・事業を総合的・一体的に推進するための計画
- 「第6次宇都宮市総合計画」の分野別計画「『交通未来都市』の実現に向けて」の基本施策「暮らしやすく魅力のある都市空間を形成する」を実現するための計画
- 中心市街地のまちづくりの長期ビジョンである「宇都宮市都心部グランドデザイン」で目指すまちづくりを実現するための計画



### 3 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

#### 4 策定経過

|           |  |
|-----------|--|
| 平成30年度    | 基礎調査の実施（現状分析，アンケート調査）  |
| 令和元年度 6月～ | 中心市街地活性化推進委員会の開催（委員会4回，作業部会2回）<br>中心市街地活性化協議会の開催（総会2回，幹事会3回） |
| 2月        | パブリックコメントの実施   |
| 3月12日     | 中心市街地活性化協議会から意見書の提出  |

#### 5 計画の内容・特徴

##### (1) 内容

「第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」概要版・・・・・・・・・・別紙1

##### (2) 特徴

##### ア LRTの導入等を見据えた「活性化戦略」の設定等

###### ① 「活性化戦略」の設定（別紙2参照）

LRTの駅東側の開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきによる効果を中心市街地全体に波及させるとともに，LRTの駅西側への導入を見据えたまちづくりを効果的に進めていくため，必要な取組等をまとめた「活性化戦略」を設定し，LRT事業に係る庁外検討組織である「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」の「LRTまちづくり部会」等の議論と整合を図りながら，戦略的に活性化事業を推進する。

###### 【活性化戦略1】LRTの開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきによる集客効果を波及させる戦略プロジェクト

LRTの駅東側の開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきによる効果を中心市街地全体に波及させるための方策等をまとめる。

###### ○主な戦略事業

- ・ 公共交通の利便性向上に資する交通ICカードの導入
- ・ 外国人の視点からの街なかの魅力や情報の発信等によるインバウンド促進事業
- ・ 夜型観光の充実などによる夜の街なか回遊促進事業
- ・ 民間団体や住民等が主体となったエリアマネジメント促進事業

###### 【活性化戦略2】駅西側への将来的なLRT導入を見据えたまちづくりプロジェクト

将来的な駅西側へのLRTの導入を見据えまちづくりを効果的に進めていくために必要な方策等をまとめる。

###### ○主な戦略事業

- ・ LRTの駅西側導入を見据えたまちづくり推進事業
- ・ 二荒山神社周辺における市街地再開発事業の促進
- ・ LRTの導入に合わせたバス路線の充実
- ・ LRTの導入に合わせた駐車場の適正配置の推進

###### ② 「ウォーカブルなまちづくり」の推進

LRTの導入を見据え，街なかを「車中心」から「人中心」の空間への転換を図り，「居心地が良く，誰もが行ってみたいくなる，歩いてみたいくなるまちなか」の実現のための活性化事業を計画に計上することで，「ウォーカブルなまちづくり」を推進する。

###### ○主な計上事業

- ・ 歩行者中心の道路空間の創出等によるウォーカブルな歩行空間づくり
- ・ 公共空間におけるイベント・オープンカフェの実施などによる賑わいの創出
- ・ 低・未利用地等（空き店舗・空き地・コインパーキング等）の利活用促進
- ・ 餃子通りにおける来街者の周遊促進に資する魅力創出

## イ 様々なまちづくりの取組を促進するための仕組みの強化等

計画に掲げる将来像の実現に向けては、「中心市街地活性化協議会」・「NPO法人宇都宮まちづくり推進機構」と商店街、大学、地域住民など民間事業者等の関係者が一丸となって各種活性化事業を総合的かつ一体的に、また、より効果的・効率的に取り組んでいくことが重要である。

このため、各施策・事業に取り組む主体間の新たな連携のマッチングや更なる連携強化など、取組に対する助言や支援等のコーディネートを担う「タウンマネジメント機能」を強化し、まちの魅力や価値の向上、新たな担い手の発掘・育成などまちづくりの好循環を図る。

| 活性化に向けた施策     |                        |
|---------------|------------------------|
| 施策1《活力》       | 様々な活動を活発化させる基盤づくり      |
| 施策2《魅力》       | 都市拠点にふさわしい個性や価値の向上     |
| 施策3《賑わい》      | 恒常的な賑わいを創出する環境づくり      |
| 施策4《居住》       | 安心して快適な住環境の創出          |
| 施策推進のために《仕組み》 | 様々なまちづくりの取組を促進する仕組みの強化 |



### 1 中心市街地の活性化に関する基本的な方針

#### 第2期計画に基づく取組状況等

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月（5カ年）

【計画区域】約168ha

【計上事業】

42事業（6事業完了、36事業実施中、進捗率100%）

【目標】

目標1 宇都宮の“顔”となり市全体をけん引する活力あふれるまち（事業所数）

目標2 街なかならではの魅力と賑わいあふれるまち（歩行者・自転車通行量〔平日・休日平均値〕）

目標3 誰もが憧れ「住みたい・住み続けたい」と思うまち（居住人口）

【達成状況】

| 目標        | 基準値           | 目標値           | 現状値・目標値との差           |
|-----------|---------------|---------------|----------------------|
| 目標1(事業所数) | 2,548事業所(H24) | 2,576事業所(H31) | 2,532事業所(H28) △44    |
| 目標2(通行量)  | 99,428人(H25)  | 107,400人(H31) | 92,303人(H31) △15,097 |
| 目標3(居住人口) | 8,358人(H26)   | 8,550人(H31)   | 8,542人(H31) △8       |

○現行計画に掲げた事業はほぼ計画通り実施

○目標値の達成には至らなかったものの、空き店舗は減少し、休日・夜間の通行量や居住人口は増加傾向

#### 中心市街地の現状

- 商業・業務・医療・公共施設等の様々な都市機能が一定程度集積
- 事業所数や従業員数、小売販売額は減少傾向
- 平日・休日とも歩行者・自転車通行量は伸び悩み、週末・夜間は増加
- 自動車保有率は増えており、依然として高い自動車依存
- 市街地再開発事業等によるマンション供給などにより、居住人口は増加・回復傾向にある。また、市全体に比べ高齢化率が高い。
- 小規模な駐車場等の低・未利用地が存在
- 空き店舗数は減少傾向にあり、ピーク時から8割減少
- 商店街など民間主体による、多数のイベント開催等の多様な活動が積極的に行われる。

#### 市民ニーズ（市民アンケート結果）

- 5年前と比べ「来街頻度が変わらない」が45%、「減った」が35%
- 郊外店舗に比べ、中心市街地の消費額は低い傾向
- 来街意欲を高めるものは「イベント」「飲食店」「物販店」
- 公園・広場に求める機能は休憩するための施設
- 魅力的な場所として「二荒山神社」「オリオン通り」、一方、重点的に魅力向上を図るべき場所は「オリオン通り」「JR宇都宮駅」「大通り」
- 街なかに住居するなら「生鮮食品店舗」「公園・憩いスペース」の充実が必要

#### 第2期計画の総括

- 夜間人口や飲食店舗数の増加や、多彩なイベントの定着により、恒常的な賑わいが創出されつつあり、経済活力の向上への機運・環境が醸成されてきている。
- 一方で、多様な就業の場の確保、低・未利用地等の有効活用や居住世帯の多様化、公共交通アクセスの向上など、活性化を支える基盤の更なる充実が必要である。

#### 上位計画における中心市街地の目指すべき姿

##### 【都心部グランドデザイン】

- 中核都市宇都宮にふさわしい賑わいと高次な都市機能を備えた多様性のあるまち
  - ・産業が活発に交流し、活気ある都心づくり～経済・活力～
  - ・市民が豊かに生活し、交流し合う賑わいのある都心づくり～生活・居住、交流・賑わい～
  - ・宇都宮らしい個性と景観のある顔を持った都心づくり～個性・風格～
  - ・高度な都市活動を支える都心づくり～高次都市機能～

#### 中心市街地を取り巻く状況

##### 【時代潮流】

- ・「SDGs」の達成に向けた取組の推進
- ・スマートシティの推進
- ・ウォークラブルなまちづくりへの取組
- ・民間団体や商店街等による自主的なまちづくりや地域再生に向けた取組の推進

##### 【環境変化】

- ・市全体の人口が平成30年以降、減少局面へ
- ・駅東側におけるLRTの開業
- ・将来的なLRTの駅西側への導入
- ・JR宇都宮駅東口地区のまちびらき
- ・大谷石文化の日本遺産認定
- ・オリンピックを契機とした国内外からの来街者の増加

#### 活性化の課題

多様な主体による様々な活動の活発化

時代潮流等を踏まえた街なかの魅力の向上

日常的に人が交流するための環境の整備

多世代や多様な世帯の中心市街地への居住の誘導

市民生活や様々な活動を支える都市機能の集積

活性化に向けた取組を推進するための仕組みの強化

#### 課題解決に向けた取組方針

＜方針1＞活力  
「人・モノ・情報」を呼び込み、様々な活動を活発化させるまちづくり

＜方針2＞魅力  
街なかの魅力高め、多くの人を惹きつけるまちづくり

＜方針3＞賑わい  
多くの人交流し、恒常的な賑わいを生むまちづくり

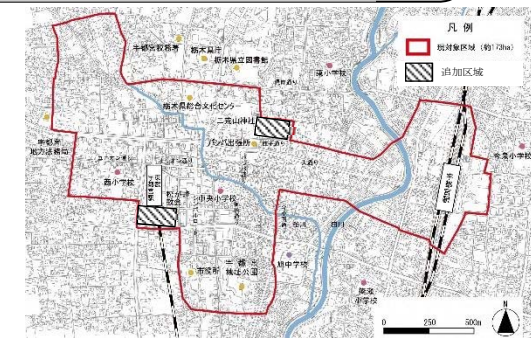
＜方針4＞居住  
多世代が住み続けられる安心・快適なまちづくり

＜方針5＞仕組み  
活性化のための様々な取組を促進する仕組みづくり

### 2 中心市街地の位置及び区域

計画対象区域の設定の考え方（対象区域：約173ha）

- 「都心部グランドデザイン」で位置づけた都市拠点の範囲（約320ha）のうち、5年間で重点的に活性化に取り組む区域を計画対象区域として設定する。
- 第2期計画の区域に、第2次観光振興プランでリーディングプロジェクトとして位置づけられた「『餃子の魅力』フル活用プロジェクト」に関連する餃子通りと、日本遺産に認定された大谷石文化の構成文化財である松が峰教会を含むエリアを追加する。



### 3 中心市街地の活性化の目標と施策の体系

計画期間：令和2年4月から令和7年3月まで（5カ年）

#### 中心市街地の将来像

##### うごく つながる 心躍る みんなで創る 宮の街なか

- 「うごく」…LRTが走り、ICT技術などを活用しながら多様な活動が行われ、新たな産業が興り、働く人・住む人が増える ⇒ 《活力》《居住》
- 「つながる」…人と人が結び付き、多様な交流が生まれるとともに、様々な情報が収集・発信され、「人・情報」がつながる、また、LRTにより東口と西口がつながる、宇都宮と他の都市とがつながる ⇒ 《賑わい》《居住》
- 「心躍る」…人を惹きつける魅力的な空間が形成され、街なかを訪れ、楽しむ人が増える ⇒ 《魅力》
- 「みんなで創る」…官民の様々な団体・個人が主体的に多彩な取組を連携・補完し合いながら進めることで、未来の街なかを築き上げていく ⇒ 《仕組み》

#### 活性化に向けた施策

- ＜施策1＞《活力》 様々な活動を活発化させる基盤づくり
- ＜施策2＞《魅力》 都市拠点にふさわしい個性や価値の向上
- ＜施策3＞《賑わい》 恒常的な賑わいを創出する環境づくり
- ＜施策4＞《居住》 安心して快適な住環境の創出
- ＜施策推進のために＞《仕組み》 様々なまちづくりの取組を促進する仕組みの強化

#### 活性化戦略

- ＜活性化戦略1＞  
LRT開業と駅東口のまちびらきによる集客効果を波及させる戦略プロジェクト  
LRT開業と駅東口のまちびらきの効果を中心市街地全体に波及させるための方策等を整理
  - 東口の集客を西口で受け入れる環境を整備
  - 駅西側において、来街者の来訪意欲や活動意欲を喚起し、回遊しやすい環境を醸成
  - 活性化のための仕組み・体制を構築
- ＜活性化戦略2＞  
駅西側への将来的なLRT導入を見据えたまちづくりプロジェクト  
駅西側へのLRTの導入を見据え、まちづくりを効果的に進めていくために必要な方策等を整理
  - 移動しやすい環境づくりを推進
  - LRT沿線のまちづくりの機運醸成
  - LRT沿線の整備に向けた動きを促進

目標指標

<目標1>《活力》誰もが多様な活動を活発に行い、活力に満ちた状態

| 目標指標         | 基準値            | 目標値           | 把握手法          |
|--------------|----------------|---------------|---------------|
| 中心市街地内の事業所数  | 2,571事業所 (H28) | 2,591事業所 (R6) | 経済センサス調査      |
| (補完指標) 空き店舗数 | 25店舗 (R元)      | 25店舗以下 (R6)   | 実数 (毎年)       |
| (補完指標) 空き店舗率 | 2.0% (R元)      | 2.0%以下 (R6)   | 実数 (毎年) / 店舗数 |

<目標2>《魅力》都市拠点ならではの個性や価値が備わり、魅力にあふれている状態

| 目標指標                                | 基準値   | 目標値                                | 把握手法          |
|-------------------------------------|---|------------------------------------|---------------|
| 中心市街地の歩行者・自転車通行量 (終日、平日・休日別の1地点当たり) | 平日 9,332人/日<br>休日 8,934人/日<br>(R元)  | 平日 9,900人/日<br>休日 9,700人/日<br>(R6) | 通行量自動測定器 (毎年) |
| (補完指標) 街なかへの来訪頻度                    | 「週1~2回程度」の来街頻度の割合<br>○ 第1位「月1~2回程度」<br>○ 第2位「年に数回程度」<br>○ 第3位「週1~2回程度」<br>(H30) | 「週1~2回程度」の来街頻度が第1位<br>(R6)         | 世論調査 (隔年)     |

<目標3>《賑わい》誰もが楽しく回遊・交流できる環境が整備され、賑わいに満ちている状態

| 目標指標   | 基準値  | 目標値  | 把握手法          |
|--|--|--|---------------|
| 中心市街地の歩行者・自転車通行量 (平日・休日別の1地点当たりの終日通行量)   | 平日 9,332人/日<br>休日 8,934人/日<br>(R元)   | 平日 9,900人/日<br>休日 9,700人/日<br>(R6)   | 通行量自動測定器 (毎年) |
| (補完指標) JRコア・センターコアの3地点 (JR宇都宮駅東西自由通路、二荒山神社前、オリオンスクエア前) における歩行者・自転車通行量 (平日・休日別の終日通行量) | ① JR駅東西自由通路<br>平日 32,295人/日<br>休日 22,641人/日<br>② 二荒山神社前<br>平日 8,393人/日<br>休日 5,858人/日<br>③ オリオンスクエア前<br>平日 11,585人/日<br>休日 13,395人/日<br>(R元) | ① JR駅東西自由通路<br>平日 37,000人/日<br>休日 28,600人/日<br>② 二荒山神社前<br>平日 9,000人/日<br>休日 6,600人/日<br>③ オリオンスクエア前<br>平日 12,400人/日<br>休日 15,100人/日<br>(R6) | 通行量自動測定器 (毎年) |

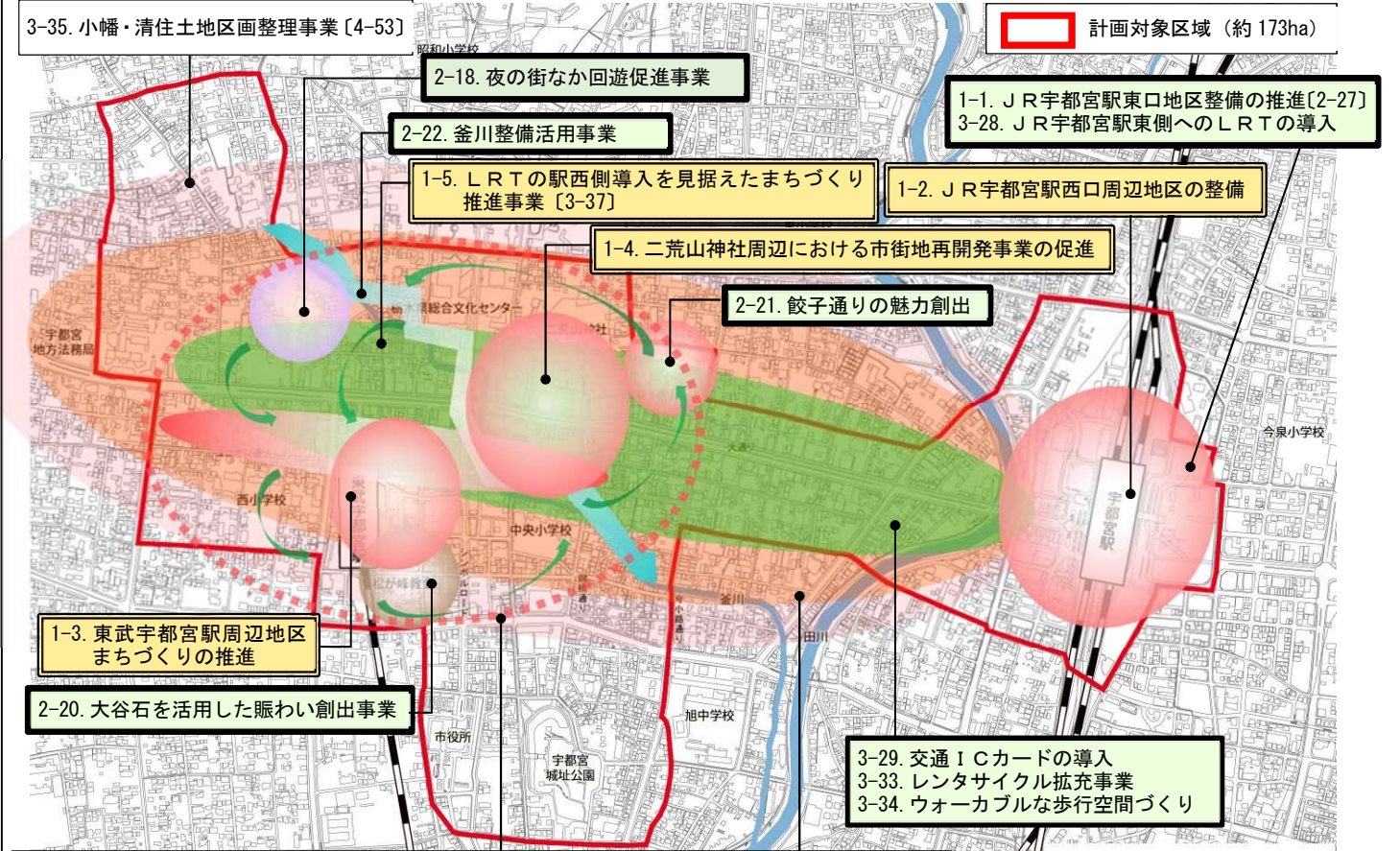
<目標4>《居住》誰もが愛着と誇りをもって豊かに住み続けられる暮らしやすいまちが形成された状態

| 目標指標                    | 基準値         | 目標値         | 把握手法          |
|-------------------------|-------------|-------------|---------------|
| 中心市街地内の居住人口             | 8,703人 (R元) | 8,940人 (R6) | 住民基本台帳 (毎年)   |
| (補完指標) 街なかに住みたいと思う市民の割合 | 7.5% (H30)  | 12.5% (R6)  | 市民アンケート (5年毎) |

<目標5>《仕組み》多様な主体が連携・補完し合いながら、活性化に向けて実効性の高い多彩な取組を進めている状態

| 目標指標                           | 基準値     | 目標値      | 把握手法       |
|--------------------------------|---------|----------|------------|
| タウンマネジメントによるコーディネートを行った事業件数    | 0件 (R元) | 12件 (R6) | ヒアリング (毎年) |
| (補完指標) タウンマネジメントの強化に繋がる勉強会等の件数 | 0件 (R元) | 96件 (R6) | ヒアリング (毎年) |

4 中心市街地活性化に向けて取り組む事業(63事業)



- |  |                              |
|--|------------------------------|
| 1-12. 空き店舗活用事業                           | 3-42. インバウンド促進事業             |
| 1-13. 魅力ある商店街形成事業                        | 3-43. 街なか「おもてなし」推進事業         |
| 2-15. 都市ブランド戦略の推進                        | 3-44. 楽しい街の得するゼミナール「まちゼミ」事業  |
| 2-16. 魅力ある景観づくり事業                        | 3-48. 拠点広場における賑わい・交流向上事業     |
| 2-17. 冬の夜間景観賑わい創出事業                      | 5-60. 街なか誘客のための情報発信の強化       |
| 2-25. 「自転車のまち宇都宮」の推進 [3-32]              | 5-61. MICE等の誘致強化             |
| 2-26. 国際的スポーツイベントと連携した街なかの賑わい創出事業 [3-47] | 5-62. エリアマネジメント促進事業          |
| 3-39. ICTを活用した観光情報の発信                    | 5-63. 街なか全体のマネジメント促進に向けた体制強化 |
| 3-40. キャッシュレス決済システム導入の促進                 |                              |
| 3-41. 情報発信・収集が可能なデジタルサイネージの導入            |                              |

- 上記以外の事業
- |                          |                                    |
|--------------------------|------------------------------------|
| 1-8. 立地適正化計画による都市機能の誘導   | 4-50. フレッシュマン・若年夫婦・子育て等家賃補助事業      |
| 1-9. 街なかオフィス立地支援事業       | 4-51. マイホーム取得支援補助事業                |
| 1-11. 低・未利用地等の利活用促進      | 4-52. 街なか暮らし体験・魅力発信事業              |
| 1-14. 街なか活動ポイント制度事業      | 4-54. 安全で快適なまちづくり推進事業              |
| 2-19. 歴史的建造物保存・利活用事業     | 4-55. 多世代交流スペース (宇都宮市ゆうあいひろば) 運営事業 |
| 2-23. 歴史文化に関する情報・交流機能の強化 | 4-56. 地域教育推進事業                     |
| 2-24. 歴史・文化財活用促進事業       | 4-57. 生活利便機能の充実                    |
| 3-30. 公共交通利用促進事業         | 5-58. 中心市街地活性化策提案事業                |
| 3-45. 中心市街地緑の回遊事業        | 5-59. まちづくり担い手育成事業                 |
| 3-46. 中心市街地における文化振興事業    |                                    |
| 4-49. 良質な民間賃貸住宅の供給促進     |                                    |

凡例

| 戦略区分   | 事業区分             |
|--------|------------------|
| 活性化戦略1 | 1-数字: 「活力向上」事業   |
| 活性化戦略2 | 2-数字: 「魅力向上」事業   |
|        | 3-数字: 「賑わい創出」事業  |
|        | 4-数字: 「居住促進」事業   |
|        | 5-数字: 「仕組みづくり」事業 |

5 活性化に向けた推進体制

計画に掲げる将来像の実現に向けては、「中心市街地活性化協議会」・「NPO法人宇都宮まちづくり推進機構」と商店街、大学、地域住民など民間事業者等の関係者が一丸となって各種活性化事業を総合的かつ一体的に、また、より効果的・効率的に取り組んでいくことが重要である。

このため、各施策・事業に取り組む主体間の新たな連携のマッチングや更なる連携強化など、取組に対する助言や支援等のコーディネートを担う「タウンマネジメント機能」を強化し、まちの魅力や価値の向上、新たな担い手の発掘・育成などまちづくりの好循環を図る。

- 【タウンマネジメント機能の発揮による効果等】
- ・エリアごとの取組を連携し、面的な取組の展開による相乗効果の発揮
  - ・新たなプレイヤーの発掘・担い手育成
  - ・新たなコミュニティの創出
  - ・都市機能の高度化・まちの価値の向上 等

【活性化戦略1】

LRT 開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきによる集客効果を波及させる戦略プロジェクト

- 令和4年に予定されている LRT の JR 宇都宮駅東側の開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきにより、JR 宇都宮駅周辺の「JR コア」への広域からの「人・モノ・情報」の集積や、交流人口の増加などの様々な効果が見込まれることから、これを中心市街地のまちづくりを進めていく上での好機と捉え、その効果を最大限に生かし、JR コアに集まる賑わいを駅西側の「センターコア」に波及させ、中心市街地全体の活性化に繋げていくことが重要である。
- そのためには、LRT の開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきにより、インバウンドを含めた観光、コンベンションなどを通じて市内外や広域から多くの集客が見込まれることから、こうした来街者を主なターゲットとして駅西側に誘引し、購買行動を喚起し、活発化させるため、インバウンドに対応した購買・観光等の環境整備、夜間における街なか観光などのアフターコンベンション機能の充実等をセンターコアを中心として進めることで、街なかの魅力や価値を高め、来街者の来訪意欲や活動意欲を喚起し、回遊しやすい環境づくりを進める。
- こうした環境整備とともに、駅東口の集客を受け入れ、来街しやすい移動環境の充実を図ることで、中心市街地全体に賑わいが波及することを目指す。

駅東口に集まる賑わいを  
中心市街地全体に波及

【STEP1】

活性化のための基盤や仕組み・体制が構築されている

- LRT の整備と JR 宇都宮駅東口の地区整備事業が進んでいる状況
- 活性化の仕組み・体制が構築されている状況
- 多様な主体が連携しながら、活性化のための様々なイベントや活動などが効果的・効率的に展開されている状況

【戦略事業】

- ◎JR 宇都宮駅東側への LRT の導入
- ◎JR 宇都宮駅東口地区整備の推進
- ◎エリアマネジメント促進事業
- ◎街なか全体のマネジメント促進に向けた体制強化
- ◎MICE 等の誘致強化
- ◎冬の夜間景観賑わい創出事業
- ◎夜の街なか回遊促進事業
- ◎空き店舗活用事業
- ◎拠点広場における賑わい・交流向上事業
- ◎都市ブランド戦略の推進
- ◎釜川整備活用事業
- ◎魅力ある景観づくり事業
- ◎大谷石を活用した賑わい創出事業
- ◎餃子通りの魅力創出
- ◎国際的スポーツイベントと連携した街なかの賑わい創出事業
- ◎愉快的な街の得するゼミナール「まちゼミ」事業

【STEP2】

駅西側において、来街者の来訪意欲や活動意欲を喚起し、回遊しやすい環境ができています

- 来街者の購買行動や多様な活動が喚起されるような環境が整備されている状況
- 駅東口のアフターコンベンション機能が駅西側に充実している状況
- 街なかの回遊を促進する魅力や価値が充実しつつある状況

【戦略事業】

- ◎魅力ある商店街形成事業
- ◎「自転車のまち宇都宮」の推進
- ◎ICT を活用した観光情報の発信
- ◎街なか「おもてなし」推進事業
- ◎情報発信・収集が可能なデジタルサイネージの導入
- ◎インバウンド促進事業
- ◎キャッシュレス決済システム導入の促進
- ◎街なか誘客のための情報発信の強化

【STEP3】

駅東口からの来街者を駅西側で受け入れるための移動環境が整っている

駅東口への来街者が駅西側にも来街しやすい移動環境が整っている状況

【戦略事業】

- ◎交通 IC カードの導入
- ◎レンタサイクル拡充事業
- ◎ウォーカブルな歩行空間づくり

※ 【STEP1】 から【STEP3】 までの取組については、優先順位を意識しながら包括的に取組を実施することで、駅東口に集まる賑わいを中心市街地全体に波及させるための環境づくりを進めていく。

駅西側において、来街者の来訪意欲や活動意欲を喚起し、回遊しやすい環境ができています

- ◎魅力ある商店街形成事業
- ◎「自転車のまち宇都宮」の推進
- ◎ICT を活用した観光情報の発信
- ◎街なか「おもてなし」推進事業
- ◎情報発信・収集が可能なデジタルサイネージの導入
- ◎インバウンド促進事業
- ◎キャッシュレス決済システム導入の促進
- ◎街なか誘客のための情報発信強化



活性化のための基盤や仕組み・体制が構築されている状態

- ◎エリアマネジメント促進事業
- ◎街なか全体のマネジメント促進に向けた体制強化
- ◎MICE等の誘致強化

【活性化戦略2】

LRTの駅西側への導入を見据えたまちづくりプロジェクト

- LRTの駅西側への導入は、中心市街地のまちの姿や在り方を大きく変える契機となることから、導入を見据え、その効果を最大限にまちづくりに活かしていくための取組を着実に進めることが重要である。
- LRTの効果を最大限に活かしていくためには、中長期的な視点から、LRTの導入を前提とした「ひと中心」の都市空間を形成し、新たなブランド価値を創出することで、多くの人が集い、交流し、活動する活性化の好循環を生み出す環境・基盤を整備していく必要がある。
- こうした環境・基盤づくりとして、LRT導入と合わせた快適な移動環境を創出するため、バスや自転車などの2次交通の充実など、中心市街地にアクセスしやすく、移動しやすい環境づくりに向けた取組を進めるとともに、道路空間の再編をはじめ、公共空間等を有効活用し、「ひと中心」の居心地が良く歩いて楽しいウォーカブルな空間づくりに向けた取組を進めていく。
- 併せて、LRT沿線を中心として、多くの人々の交流や活動を促進させる基盤づくりを進めるため、まずは、地元のまちづくり機運を高めていき、交通結節点における拠点化の促進や停留場周辺などにおける民間による開発の動きを促進させるとともに、LRTと調和した街並みの形成を図るなど、魅力的な都市空間の創出に向けた取組を進めていく。
- これらの取組に当たっては、「LRTの駅西側への導入」に向けた動きと連動しながら、「快適な移動環境の創出」と「LRT沿線の基盤整備」によるまちづくりを一体的に進めていくことで、持続的な活性化の好循環を生み出す環境・基盤を創出していく。

LRTと連携した「ひと」中心の都市空間を形成し、中心市街地の新たなブランド価値を創出することで、多くの人々が交流し、活動する活性化の好循環を生み出す環境・基盤を整備



**移動しやすい環境づくりが進められている**

- バスや自転車など、LRTの導入に合わせた2次交通の充実等に向け、中心市街地にアクセスしやすく、移動しやすい環境づくりに向けた動きが始まっている状況
- LRTの導入に合わせた「ひと中心」の快適な歩行空間の創出や、公共空間を活用した憩いと賑わい空間の創出など、「ウォーカブルな空間づくり」に向けた取組が始まっている状況

- 【戦略事業】
- ◎バス路線の充実
  - ◎「自転車のまち宇都宮」の推進
  - ◎レンタサイクル拡充事業
  - ◎交通ICカードの導入
  - ◎駐車場の適正配置の推進
  - ◎ウォーカブルな歩行空間づくり
  - ◎公共空間の利活用促進

**LRT沿線の整備に向けた動きが出てきている**

- 交通結節点における拠点化の促進や停留場周辺における整備に向けた動きが始まってきている状況
- LRT沿線における基盤整備に合わせ、LRTと歩行空間が調和した街並みを形成するための取組が進められている状況

- 【戦略事業】
- ◎JR宇都宮駅西口周辺地区の整備
  - ◎二荒山神社周辺における市街地再開発事業の促進
  - ◎東武宇都宮駅周辺地区まちづくりの推進
  - ◎LRTの駅西側導入を見据えたまちづくり推進事業

**LRT沿線のまちづくりの機運が高まってきている**

LRT沿線の交通結節点や停留場周辺において、民間主体によるLRTの導入を見据えた地元のまちづくりの機運が高まりつつある状況

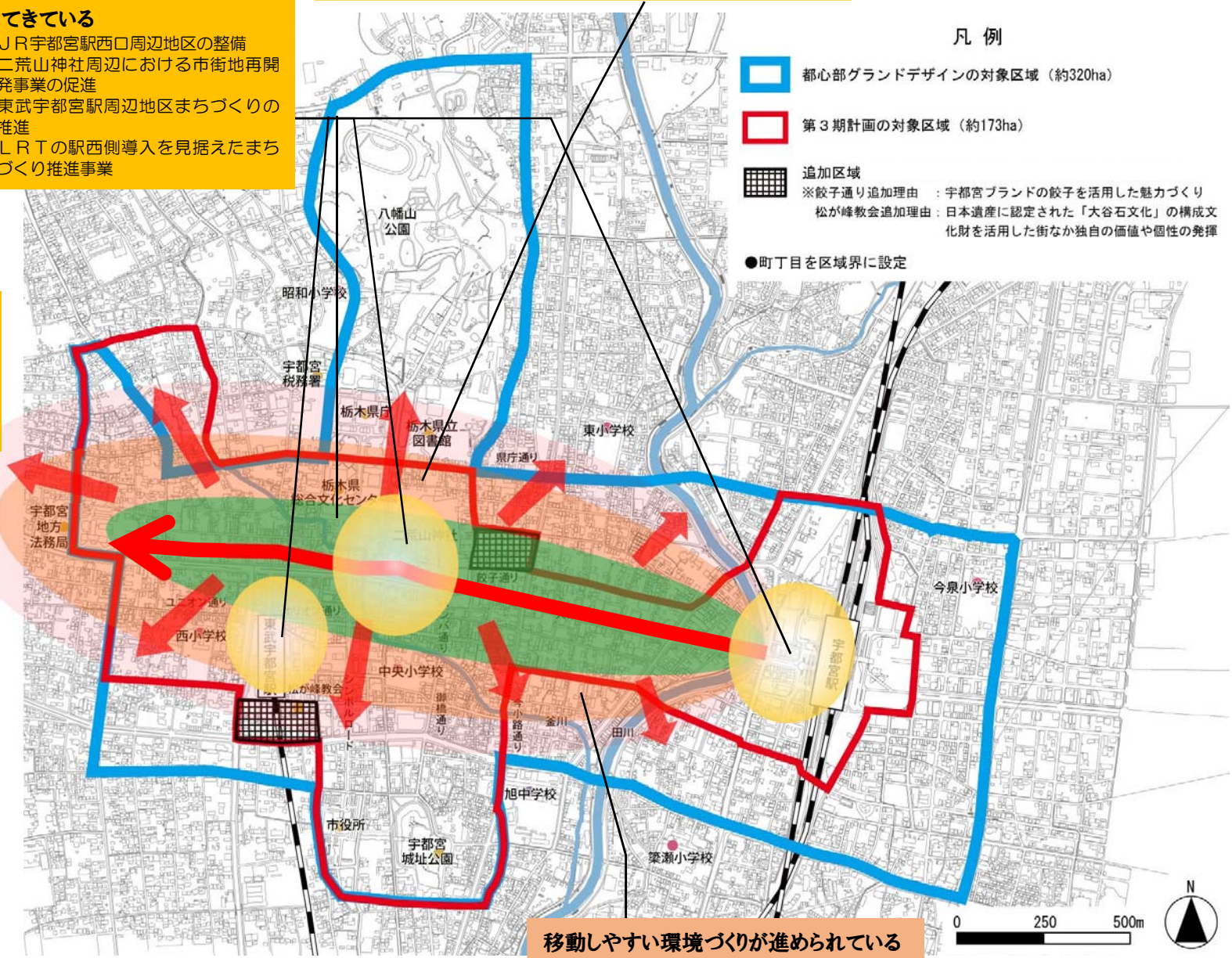
- 【戦略事業】
- ◎LRTの駅西側導入を見据えた市民によるまちづくり活動の促進

**LRT沿線の整備に向けた動きが出てきている**

- ◎JR宇都宮駅西口周辺地区の整備
- ◎二荒山神社周辺における市街地再開発事業の促進
- ◎東武宇都宮駅周辺地区まちづくりの推進
- ◎LRTの駅西側導入を見据えたまちづくり推進事業

**LRT沿線のまちづくりの機運が高まってきている**

◎LRTの駅西側導入を見据えた市民によるまちづくり活動の促進



**移動しやすい環境づくりが進められている**

- ◎バス路線の充実
- ◎「自転車のまち宇都宮」の推進
- ◎レンタサイクル拡充事業
- ◎交通ICカードの導入
- ◎駐車場の適正配置の推進
- ◎ウォーカブルな歩行空間づくり
- ◎公共空間の利活用促進